

みさき

53号

美咲町議会だより

2018年8月10日発行

議

長



主な内容

こんなことが決まりました ②~③

委員会の活動 ④~⑧

10議員が町政を問う ⑪~⑱

特集 平成30年度 美咲町子ども議会 ⑳~㉓

表紙関連記事19ページ

大きく育て美咲の子ども ^{あした}君の想いが未来を創る

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>



議会HPへアクセスします

今年度から3カ年で着手

招集され一般会計補正予算など20件の議案が議決されました。

グラウンドの照明を修繕

柵原総合グラウンドの照明機器1基が老朽化したため修繕する。
〔体育施設運営費 145万円〕



森林整備の活動を支援

民有林の管理者を確認するための調査を実施する。
〔林業振興費 591万円〕



条例

町長の給与を2カ月間減額

「美咲町長等の給与及び旅費に
関する条例の一部改正」

道義的責任により町長の給与月額を30年7月から2カ月間20%減額する。

請願・陳情

平成29年度単独町費事業公民連携町づくりに伴う地形測量業務委託費・土地鑑定評価手数料に関する請願書

〔請願者代表〕美咲町原田 畝木 基

紹介議員 藤井 智江

山田 雄二

請願の内容について違法性は認められず、道義的責任についても自ら判断していることから賛成少数で不採択とした。

「聴取確認書の検証と林田議員と貝阿彌議長の処分を求める請願書

美咲町の明日を考える会

代表 三船 博之

紹介議員 山本 宏治

聴取確認書は行政文書として存在せず、個別の係争事案に議会は関与出来ないものと判断し、賛成少数で不採択とした。

地方財政の充実・強化を求める陳情書

美咲町職員労働組合

執行委員長 富田 章史

必要な公共サービスを提供するため、社会保障予算の充実と地方財政の確立を求めるものであり、全会一致で採択とした。

人事案件

池上副町長の選任に同意

副町長の選任が提案され、賛成多数で同意した。任期は平成34年6月30日までの4年間。



美咲町新城
池上 康夫（新任）

農業委員会委員の選任に同意

農業委員会委員の選任が提案され、全会一致で同意した。任期は平成32年7月19日までの2年間。



美咲町大戸下
櫻本 輝美（新任）

議員発議

地方財政の充実・強化を求める意見書

社会保障予算と地方財政の確立を目指すため「社会保障予算の確保」や「地方交付税算定のあり方を検討すること」などを求める意見書を日本政府に対して送付した。

6月議会

でこんなことが
決まりました

みさきネット設備更新

6月4日～15日まで定例議会・6月29日に臨時議会が

みさきネット設備を全面改修

【6月29日臨時議会】

みさきネットの設備が老朽化したため全面的に改修工事を実施する議案が提案され、賛成多数で承認された。30～32年度の3年計画で整備する。

〔契約先〕

富士通ネットワークソリューションズ(株)
中国支店

〔契約金額〕

15億1,092万円
(内消費税額 1億1,192万円)

町有住宅を解体撤去

町有の木造住宅1棟が老朽化したため建物の解体撤去工事を行う。

〔住宅管理費 545万円〕



意見の分かれた議案

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		貝阿彌議員	松島啓議員	山本議員	岩野議員	江原議員	金谷議員	松田議員	林田議員	左居議員	延原議員	形井議員	松島幸議員	藤井議員	山田議員
議案第78号	美咲町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	議長	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
議案第82号	副町長の選任	議長	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○
議案第83号	みさきネット施設改修工事請負契約(6月29日臨時議会)	議長	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×
請願1号	公民連携まちづくりに伴う地形測量、土地鑑定委託料に伴う請願書	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
請願2号	聴取確認書の検証と林田議員、貝阿彌議長の処分を求める請願書	退席	議長	○	×	×	×	×	退席	○	×	×	×	×	×

【議案に対する討論】

【議案第78号】 美咲町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	【反 対】 一連の騒動を引き起こした道義的責任は町長の給与を減額した程度で取れるものではない よって条例改正案に反対する	左居議員 松島啓議員 山田議員
	【賛 成】 法的責任はないが道義的責任を認めて町長自ら判断した行動は尊重すべきである よって条例改正案に賛成する	延原議員

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課、徴収対策室、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／山田雄二、松島幸一、松田英二、岩野正則、松島 啓の7人で審議しています。

【総務課】

7月から政策推進監が就任

問 新たに就任する政策推進監とはどのような人物なのか。

答 国の地方創生人材支援制度によって総務省に所属する29歳の幹部候補生を今年7月から2年間派遣してもらうこととなった。

【まちづくり課】

飯岡コミュニティ駐車場を舗装

問 財産一般管理費250万円は何のための予算なのか。

答 飯岡コミュニティハウス駐車場のアスファルト舗装が劣化したため、全面をやり直す。

【情報交通課】

中学生のバス利用を100円に

問 町が運行しているバスの中学生の利用料金が下がるのか。

答 町が共同運行しているバスを中学生が利用する場合、社会体験を促すことを目的に7月20日～8月31日の期間限定で料金を100円とする。

町内の産業振興の研修を行うため、柵原地域のエコシステム山陽(株)、中央地域の(有)美咲ファーム、旭地域の江与味製材(株)をそれぞれ視察した。

各企業においては、人材の確保が一番の課題となっており、官民一体となった解決策が望まれる。

【上下水道課】

雨水処理の施設を整備

問 柵原公共下水道の予算1,740万円は何をするのか。

答 吉井川が増水した時に内側に溜まる雨水を処理する施設を藤原地内に整備する。

【建設課】

柵原に残土処理場を整備

問 新しい残土処理場はどこに作られるのか。

答 柵原地域のエイコンパークの隣に約7万㎡を埋め立てる施設を整備する予定にしている。

【産業観光課】

森林経営管理の情報収集

問 森林整備地域活動支援対策事業とはどのような内容か。

答 来年度から森林の経営管理が所有者に義務付けられる。このため森林所有者の意向調査など情報収集を実施する。

◎エコシステム山陽(株)



エコシステム山陽(株)は、廃棄物処理・土壌浄化・リサイクルの分野で高いトータルサービスを提供し、廃棄物を無害化・減容化する中間処理において中核的な役割を果たす拠点企業です。

◎(有)美咲ファーム



(有)美咲ファームは、一歩先をいく食品衛生管理により安全で高品質な卵を提供し、人と地球にやさしい環境との共生を考えた循環型農業を目指す企業です。

美咲町の「たまごかけごはん」はここから始まりました。

◎江与味製材(株)



江与味製材(株)は、国産材の可能性を真剣に考え、生み出された木材を最大限に活かし、持続可能な林業に取り組むことで多くの雇用を生み地域の発展に貢献する企業です。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

◎通信事業ネットワークで住民の一体感醸成

本町の課題である通信事業ネットワークの取り組みについての研修を行うため、平成30年4月24日に徳島県阿波市役所を視察した。

阿波市は、住民の一体感醸成を図る手段として合併当初から市内全域へのケーブルテレビ網整備に力を注いでいたが、約3カ年の期間と42億円の事業費をかけて高速・大容量での伝送が可能となるGE-PON方式を採用した通信事業ネットワークが完成した。本町における「みさきネット」設備更新事業において阿波市と同じくGE-PON方式の採用を目指していることから今回の行政視察となった。

この事業には阿波市の総世帯数の92.3%にあたる1万4113世帯が加入しており、光幹線の総延長は約69万m。各幹線を統括するサブセンターが4カ所設置されており、これらの施設保守・点検、維持管理、自主放送の制作などを指定管理業務として委託。年間2億円の経費を支出している。このほかに本町では取り組まれていないがIRU通信事業者と契約しインターネット環境の拡大を進めている。

本町では今年度から3カ年計画で「みさきネット」の大規模な更新事業を進める予定だが、施設整備にあたっては課題となっている施設の保守・点検・維持・管理、さらには次の更新費用も視野に入れた方針を示さなければならない。



阿波市役所会議室

◎地方創生時代を議会がリードする

全国の市議会議員・町村議会議員で構成する「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」が主催する《全国地方議会サミット2018》が早稲田大学大隈記念講堂で開催された。

「議会のチカラで日本創生」と題した研修会で、著名な講師陣によって、◇地方議会から日本を変える◇地方創生の展望◇地方創生時代に求められる議会力◇議会力強化のための議会事務局の変革◇地方創生をリードする議会へ◇政策を実現する議会へ◇海外の議会制度から議会の多様性を考える◇多様性のある議会に向けた実践と課題 などの講演やパネルディスカッションが行われ、さらに地方創生に取り組む各地方議会からの先進的な議会改革の事例集が報告された。

少子化・高齢化・人口減少など深刻な課題が全国の自治体に突き付けられている中で、議決権を持つ議会は魅力的な地域づくりを行うための重大な責任と豊かな可能性をもっている。地方創生時代を議会がリードするためには議会の役割である[監視機能][民意吸収機能][政策立案機能]をより充実・強化させることが求められている。



北川正恭
早稲田大学名誉教授



片山善博
早稲田大学教授



中林美恵子
早稲田大学教授



江藤俊昭
山梨学院大学教授



廣瀬克哉
法政大学教授



早稲田大学大隈記念講堂

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／金谷高子 副委員長／形井 圓 委員／藤井智江、左居喜次、林田 実、江原耕司、貝阿彌幸善の7人で審議しています。

【保険年金課】 地域交流事業費を減額

問 介護予防地域交流活性化事業費が380万円減額されたのはなぜか。

答 通いの場の改修、備品購入費など前年度実績額の確定により減額した。

【健康推進課】 ほほえみの湯施設運営の検討

問 ほほえみの湯についての見通しは。

答 現在、公衆浴場として運営しているが、特殊な設備なので、近くの業者に修繕を依頼できず、高額につき今後の運営について検討している。

【住民課】 町有木造住宅を解体

問 町有住宅管理臨時管理費545万円の用途は。

答 町有木造住宅（柵原地域）の、老朽化が著しいため、解体することとした。



新城地内

中央地域の新城自治会が行っている「朝談カフェ」を視察しました。

地域の人たちが顔を合わせ、談笑することで、認知症予防にもなり、そこに集った人はもちろん、地域全体のまとまりを強くしている。

※その他の視察先

柵原吉ヶ原地区の「みいちゃんの家」

【福祉事務所】 生活保護基準額引き下げ

問 生活保護臨時管理費194万円の内容は何か。

答 生活保護法の改正により、全国一斉の業務データシステム改修にともなう費用。

【教育総務課】 嘱託職員を増員

問 人件費253万円の増額はなぜか。

答 教育総務課の事務職員、1名を嘱託職員として増員したため。

【生涯学習課】 グラウンド照明を改修

問 体育施設運営臨時管理費の145万円の用途は。

答 柵原総合グラウンドの照明機器の電球が切れているため、1基全ての電球を取り替える。

委員会 の活動

柵原地域学校等建設特別委員会からの報告

◎子どもたちの健全な発達のために



教育委員会から説明を聞く

義務教育学校の制度を調査することを目的として、議員9人で構成する美咲町議会柵原地域学校等建設特別委員会を設置し3月以降3回の委員会を開催した。

第4回委員会では、「全町的な児童・生徒の体力測定数値」と「学校施設の施設修繕及び改修工事の状況」の調査を実施し、子どもたちの体力状況と学校施設の現状把握に努めた。

第5回委員会では、「全町的な児童・生徒の通学状況」と「学校建設に係る国庫補助金」について調査を実施し、通学の安全性と財源確保の状況を確認した。

第6回委員会では、「既存施設跡地活用」と新町建設計画・第二次振興計画・過疎計画など「各種計画書の策定状況」についての調査を実施し跡地施設の活用方法や各種計画書の内容確認を行った。

今後は、調査内容の中間的なまとめ、先進施設への視察・研修、跡地活用の方策検討、総合的な教育環境についての協議など、本町に適した学校教育の研究と児童・生徒の学力および学習意欲の向上、生活環境の改善、健全なる心身の発達に寄与するため最善の方策を探るべく委員会を開催する予定である。

◎地域の活力となる学び舎を目指して

義務教育学校の先進地に学ぶため、鳥取市立湖南学園(児童98人、生徒47人)を視察した。

湖南学園ができた経緯は、湖南地区では少子化が進み、統廃合により地域から中学校が無くなると、地域の活力が低下するという声が大きくなり、地域懇談会を開いて地元から動き出し、「地域に生きる活力ある学校づくり」を目標に研究が進められた。

それを受けて鳥取市は児童・生徒の減少に対して義務教育を一体としてとらえる施策を打ち出し、鳥取市小中一貫校推進事業を始めた。

16年度に小中一貫研究会を立ち上げ、17年度には検討委員会を設置し、委員も増員してアンケート調査を行い、18年度に検討委員会として報告書を市教育委員会に提出。平成20年度に隣接型小中一貫校を開校し、文部科学省教育課程特例校認可を受ける。平成21年度に一体型校舎による小中一貫校を開校し、平成30年度に義務教育学校としてスタートした。

本町委員からの「小中一貫で転入があったか」という質問に、小規模転入制度で最初は6人だったが現在は27人の転入があり、湖南学園の教育が注目されているという回答があった。

美咲町からのたくさんの質問に1問ずつ丁寧に回答していただき、義務教育学校を開校した際はぜひ交流を、というエールをいただいた。



活力ある学校を

組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

岡山県北森林・林業 活性化促進議員連盟

5月10、11日に高知県庁で土佐材普及・流通について、また協同組合高知木材センターで高知県木材流通拠点について視察した。

高知県では、成熟した森林資源が充実している。県では各種補助金制度を導入しており、さらに、各市町村も上乘せをし木材の流通を図っている。また、CLTも自治

体や民間企業の事務所に活用するなど普及を進めている。

木材センターでは、丸太などの原木ではなく、フローリング材、屋根地、テーブルなどの板を製品にしたものを委託で展示し、毎月の市売り、顧客からの付け売りなどの方式で販売している。

また、輸送費に補助金制度を設け、官民協働により土佐材の販路拡大に力を入れている。



木材製品を展示販売する高知木材センター

柵原・吉井特別養護 老人ホーム組合

(赤磐市、美咲町)

3月26日、定例会を開催し、30年度組合会計当初予算3億4,594万円など2議案を審議し全会一致で可決した。

柵原・吉井・英田 火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

3月26日、定例会を開催し、30年度組合会計予算1,611万円など2議案を審議し、全会一致で可決した。

岡山県中部 環境施設組合

(真庭市、美咲町)

3月28日、定例会を開催し、30年度一般会計予算3億629万円など2議案を審議し、全会一致で可決した。

津山圏域 衛生処理組合

(津山市、鏡野町、美咲町)

5月30、31日に奈良県五條市クリーン・オアシスと三重県三重中央開発株式会社の三重リサイクルセンターを視察した。

三重リサイクルセンターは、津山処理センターから汚泥処理をお願いしている。広大な施設では一般廃棄物、産業廃棄物などさまざま



津山圏域の汚泥処理が行われる三重リサイクルセンター

まな品目が処理されている。

施設では、地域住民の理解を得るために地元雇用を最低500人、地域の畑を買い上げ住民にタマネギの生産をしていただき、三重中央開発の従業員などが全て買い上げることとしている。

また、イベントでは住民に1日中楽しんでいただくなど地元対応も非常に優れている。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、
町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
11	松島 幸一	1. 美咲町障害者計画の実施方針は 2. 本町独自のGIS整備を ◇ 生活道路や通学路への対応を ◇ 町民に分かりやすく身近な行政運営を
12	延原 正憲	1. 町政を強力に推進すべきだ 2. 災害対策にブルーシートの備蓄を
13	松島 啓	1. 今後の行政運営をどのように進めるのか 2. 棚田を取り巻く地域の活性化を
14	金谷 高子	1. がん患者のウィッグ(かつら)に購入助成を 2. 期日前投票の改善を
15	山田 雄二	1. 否決された予算の執行は問題ではないか 2. 義務教育学校創設の進め方は

ページ	議員名	質問内容
16	形井 圓	1. 加美小学校今後の計画は 2. 信頼と信用ができる行政運営を
17	藤井 智江	1. 義務教育学校創設は決定事項か 2. どう進める公共施設等総合管理計画 ◇ 学校給食費の無償化はできないか
18	山本 宏治	1. 都市鉱山プロジェクト教育行政としての取り組みは
	岩野 正則	1. ふるさと納税今まで以上の取り組みを
19	松田 英二	1. 再生可能エネルギー事業の進捗は

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。

町政を問う
一般質問



質問

美咲町障害者計画の実施方針は

答弁

誰もが支え合う地域づくりを理念に

松島幸一 議員

問 稲谷福祉事務所長
① 本年4月から障がい者を対象に町内限定で黄福タクシーを1台1000円で利用できる試行運用を始めたが、5月までの利用は0件であり、要件の拡大や新たなルールの構

答 稲谷福祉事務所長
① 本年4月から障がい者を対象に町内限定で黄福タクシーを1台1000円で利用できる試行運用を始めたが、5月までの利用は0件であり、要件の拡大や新たなルールの構



※意思疎通支援者…手話通訳者や要約筆者のこと

問 美咲町障害者計画の実施方針を問う。
① 就労支援として、通勤や職業訓練への通学に黄福タクシーをさらなる助成の上で利用できないか。
② 災害時の避難所などに不安を抱く人が多い。福祉避難所整備に向けた協議の状況は。
③ 意思疎通支援者の養成講座が開催できないか。

答 美咲町障害者計画の実施方針を問う。
① 就労支援として、通勤や職業訓練への通学に黄福タクシーをさらなる助成の上で利用できないか。
② 災害時の避難所などに不安を抱く人が多い。福祉避難所整備に向けた協議の状況は。
③ 意思疎通支援者の養成講座が開催できないか。

問 桑元総務課長
② 中学校区に1カ所という定めで交渉を進めている。
③ 岡部副町長
障害の有無にかかわらず誰もが支え合う地域づくりを理念に行動に移したい。

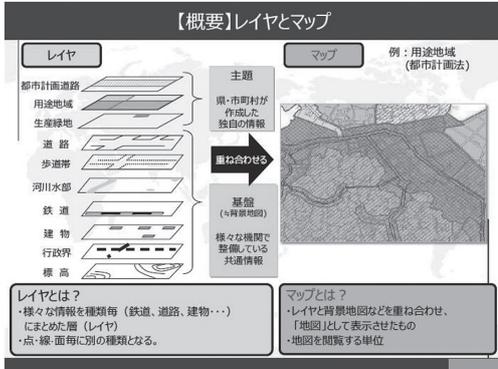
答 桑元総務課長
② 中学校区に1カ所という定めで交渉を進めている。
③ 岡部副町長
障害の有無にかかわらず誰もが支え合う地域づくりを理念に行動に移したい。

問 立石情報交通課長
今後、町のシステムに、直営バス路線の情報集約を考えている。GISは様々な業務に利用できる。それぞれのデータ利用について

答 立石情報交通課長
今後、町のシステムに、直営バス路線の情報集約を考えている。GISは様々な業務に利用できる。それぞれのデータ利用について

問 光嶋まちづくり課長
GISはこれからのまちづくり、地域課題の解決に有効な手段になる。
役場内で横断的な組織体制をつくり、力を合わせて進めていきたい。

答 光嶋まちづくり課長
GISはこれからのまちづくり、地域課題の解決に有効な手段になる。
役場内で横断的な組織体制をつくり、力を合わせて進めていきたい。



※GIS(地理情報システム)…地形図や公共施設などの情報をデータ化し、それらを重ね合わせて表示するシステム

質問

本町独自のGIS整備を

答弁

検討して取り組んでいく

質問 町政を強力に推進すべきだ

町政を問う
一般質問



延原正憲 議員

答弁 どう生き残るかが最大のテーマ



重要施策は強力に推進を

問

昨年12月議会において補正予算が否決されて以降、町長の町政に対する姿勢に積極性が感じられない。町長は直接選挙で選ばれた町政のトップリーダーとして重責を担っている。

次の重要施策は強力に推進すべきだ。見解を確認したい。

- ① 黄福拠点整備事業（公民連携による庁舎を含む複合施設整備）
- ② 柵原地域義務教育学校建設事業

答

定本町長

財源が減る中で町がどう生き残っているかが最大のテーマと

思っている。「行政は財政」とも言えるように、財政的余力のある時に事業を行っていききたい。

また、民の力を借りながら町を運営することが必要となってくる。

① 議会・町民への説明不足もあり、理解していただけなかった。一旦白紙に戻して、初心に戻ってもう一度やり直したい。

答

柴原教育長

② 丁寧できめ細やかな説明・意見交換や意向調査などを実施して具体化を進めたい。

質問 災害対策にブルーシートの備蓄を



答弁 防災物資として増やしていきたい

問

災害対策の備えや被災箇所への二次災害防止など、多目的に使用できるブルーシートは有用であるだけに万一の場合、在庫不足で取得できないおそれもある。

今からでも備蓄を積極的に推進すべきだ。①現在の備蓄状況はどうか。

②具体的な取得計画があれば確認したい。

答

桑元総務課長

①防災用として本庁42枚・柵原総合支所1枚の備蓄のみである。ブルーシート以外に



減らそう災害、増やそう備蓄

も、毛布や紙おむつ、土のう、組み立て式ベッドなど準備している。今後万が一に備え少しずつ備蓄品を増やしていきたい。

答

國宗建設課長

災害対応としてのブルーシートの備蓄は対応できていない。ある程度の備蓄は必要で、防災用として考えていきたい。

答

定本町長

②予想外の災害に備え備蓄の必要はある。予算措置については検討したい。

町政を問う
一般質問



松島 啓 議員

質問 今後の行政運営をどのように進めるのか

答弁 住民理解のために行政懇談会を行う



今後のまちづくりはどうする(旭総合支所)

※DMOとは…官民連携による地域観光を推進する法人組織

問 年々、緊縮財政が予想される中、自治体の存続、生き残りをかけて今後の行政運営をどのように行うのか。

住民アンケートの中で「町政の情報が伝わっていない」が約75%、「町政が住民の意見を反映していない」が約90%と言う結果が出ている。これをどう受け止めているのか。

答 定本町長

地域創生は人づくりからと言われており、協働のまちづくり事業の推進、地域おこし協力隊の増員、職員の人材育成や、職員採

用の仕組みの見直しなど取り組んでいる。

また、財政状況が厳しくなる中、自治体も稼ぐという意識をもって運営していく。公と民の連携を基に、公共施設等総合管理計画を踏まえ、さらに個別計画を立てていく。

観光においては、将来を見据えたビジョンが必要で、DMOの設立。台湾、香港をターゲットとしたインバウンドを推進したい。アンケート結果に愕然とした。町政への住民理解のためにも、行政懇談会を行う。

質問

棚田を取り巻く地域の活性化を

答弁

地元組織と協議し

農業観光振興に支援

問

農林水産省選定の『日本の棚田百選』の内、県内に4カ所、本町には、大井和西および小山の2カ所がある。

棚田は日本の原風景と言われ、美しい景観、災害防止、地域の交流の場など、新たな魅力が発掘されている。

その反面、担い手不足などで耕作放棄地が増え、全国的に保存の危機となりつつある。本町も同じことが言えるのではないか。

①農業振興、景観整備、観光振興における町の支援策は。

②久米南町(北庄、上初)、和気町(田土)、美作市(上山)と連携

問

農林水産省選定した取り組みはできないか。

③棚田サミットへの参加、棚田カードの発行など考えてはどうか。

答

①地元の保全組織と協議し、美作広域農業普及指導センター、農地中間管理機構と連携しながら支援する。

観光では、棚田ウォーク、棚田オーナー制度、インバウンド事業にも取り組んでいる。

②近隣自治体との連携は、まず意見交換などの交流から検討したい。③棚田サミットへの参加、棚田カードの発行は検討したい。



棚田きんちゃんまつりで田植え体験

※インバウンドとは…日本に外国人が来日する旅行

質問 がん患者のウイッグ(かつら)に購入助成を

答弁 来年4月1日施行に向け準備を進める

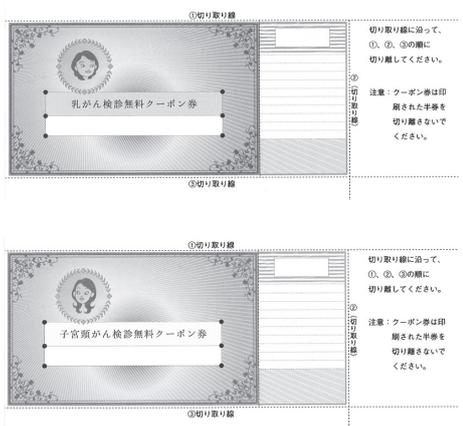


町政を問う
一般質問

金谷高子 議員

問 日本人女性の11人に1人が乳がんにかかると言われてい

答 清水健康推進課長
①無料クーポンの対象者は乳がん40歳、
②医療用ウイッグの購入助成を考えられないか。



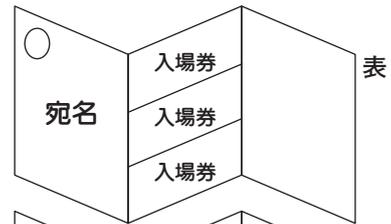
無料クーポン見本
早期発見 必ず検診

子宮頸がん20歳の人。29年度乳がん検診は対象者80人に対して受診者19人、子宮頸がん検診は対象者60人に対して受診者は4人。

来年度への対策として、無料クーポンを使用を後で返金する償還払い制度を取り入れていきたいと考えている。
②闘病中の本人とその家族の経済的負担の軽減と早期の社会復帰を後押しする観点から前向きに検討し、来年4月1日から助成できるように準備していきたい。

質問 期日前投票の改善を

答弁 当面は現状を続けていく



期日前投票宣誓書 当日投票される方は記入不要です。
私は、選挙の当日、下記の事由に該当する見込みであることを誓います。
米子市選挙管理委員会委員長 様 平成 年 月 日

氏名	〒 町 丁目 番 号	年 月 日
住所	米子市	
事由	<input type="checkbox"/> 仕事、学業、冠婚葬祭等 <input type="checkbox"/> 投票区外に外出・旅行・滞在 <input type="checkbox"/> 疾病、直前直中のため投票困難 <input type="checkbox"/> 投票移動のため投票に困難 <input type="checkbox"/> 天災、悪天候で投票困難	

米子市投票所入場券

問 期日前投票に必要な宣誓書について再度問う。
前回の答弁で「経費のことも含めた総合的に協議した結果、従来どおりと決定した」とのことであった。

誓書を印刷すると、はがきでは文字が小さくなるため、A4サイズで印刷し、封書で送ることとなる。

答 山下選挙管理委員長
①入場券の裏に宣誓書を印刷した場合の経費は。
②宣誓書印刷について、具体的にはどのような協議がなされたのか。
③投票所で書く手間を省くことで投票率の向上にも効果があると思うが考えは。

去年10月の入場券発送には郵送料が46万円かかっている。これを封書で送れば経費は今までより58万円増える。
②近隣の取り組みを踏まえ、メリットとデメリットを総合的な面から検討した。
③期日前投票所での宣誓書記入により投票率が下がっているとは考えていない。
当面の間は現状を続けていきたい。

町政を問う
一般質問



山田雄二 議員

質問 否決された予算の執行は問題ではないか

答弁 裁量権の範囲内で執行した

問 12月の本会議で予算は否決されたが、地形測量の予算が

答 定本町長 黄福創生拠点事業そのものが否定されたわけではない。この計画はまだ残っている。測量の財源の付け替えが否定されたということである。

問 12月の本会議で予算は否決されたが、地形測量の予算が

答 定本町長 黄福創生拠点整備事業がもし仮に全部否定されても、他のものにその土地は使える。土地を何に使うかについては、また今度考えればよい。必ずその事業に使わなければならないということにはならない。裁量権の範囲内で執行した。



議会の採決は重いもの

質問

義務教育学校創設の進め方は

答弁

保護者や住民の意向を

可能な限り反映

問 義務教育学校創設の方針は町長が決断したと聞くが、住民の意向は反映されているのか。

答 柴原教育長 保護者や地域住民の意向を可能な限り反映させる姿勢が大切である。学校形態については、小中一貫教育を進めていく上で一体型の校舎のほうが教育効果が大きく望ましい。候補地の提案については、全て取り下げた。事務局から用地の広さや条件などを提示し、委員に適当な場所を探していただいている。県教委からは「要請があれば資料など協力はある」との返事を受けている。



義務教育学校を視察
(京都府亀岡市立亀岡川東学園)

質問 加美小学校今後の計画は

町政を問う
一般質問



形井 圓 議員

答弁 国庫補助事業の要望を提出する

問 加美小学校児童たちの「トイレの改修をしてほしい」との要望に対し、「校舎の老朽化も進んでおり、校舎全体の調査をする」との答弁があった。予算化もされたが、調査結果と今後の計画は。

答 また、通学路の管理、特に草木の伐採は町が行うべきではないか。さらに、原田加美橋からの通学路の進捗状況は。

答 石戸教育総務課長 加美小学校の老朽化調査を平成29年度で実施した。その結果、管理棟、教

室棟の内外壁、廊下、機械設備にも経年劣化が見られる。このため、管理棟、教室棟、屋内運動場の大規模改修事業として、今年6月に31年度の国庫補助事業の要望を提出する。採択後実施設計の予定である。

答 國宗建設課長 通学路の草木の伐採について、国道、県道は、関係機関に要望に行っている。町道については、建設課で管理している。

答 加美橋からの通学路整備については、本年10月から着手し、早期完成を目指す。



改修が待たれる加美小学校 (ドアの無いトイレ)

質問 信頼と信用ができる行政運営を

答弁 情報をしっかりと発信し意見交換を行う

問 昨年12月議会に突然庁舎等複合施設の建設計画が提案された。

しかし、庁舎の建設は町の主要計画にも振興計画・過疎計画にもなく議会への協議もなかった。

さらに、経過説明の中で予算にない地形測量が実施されていたにもかかわらず、調査はしていないなど、度重なる虚偽答弁をし、現在の行政運営に対し大きな疑念と不信感を抱いている。

信頼を取り戻し、信用できる行政運営が必要と考えるが、今後どのように対応していく



信頼できる役場とは

問 のか。

答 岡部副町長 12月議会や全員協議会で私は虚偽とは認識していないが、混乱を招く発言、答弁をしたことを謝罪し深くお詫び申し上げます。

答 定本町長 副町長の答弁や発言により、議会に混乱を生じさせお詫び申し上げます。

今後は、議会をはじめ町民の皆さま方に十分ご理解をいただく場が必要と思う。

説明会、行政懇談会、意見交換会の場を設け、情報をしっかりと発信し、意見交換を行っていく。

町政を問う
一般質問



藤井智江 議員

質問

義務教育学校創設は決定事項か

答弁

町長の了解をもとに進めている



納得がいくまで説明を

問

義務教育学校創設は決定事項か。

出された答申を受け、住民への説明会をなぜ一度も開けなかったのか。

「義務教育学校」「小中一貫校」「普通の学校」の違いを理解している人は少ない。「小中一貫義務教育学校」を、保護者や住民が理解することが、方針を決める上で前提になるのではないか。
義務教育学校と言っても、柵原東小学校、柵原西小学校がなくなくて、新たに中学校と同じ土地に建てられるということは何人の住民が理解しているのか。

早く中学校を山の上から移転し、新しい気持ちの良い校舎で学ばせたいと望む保護者の中にも小中一貫義務教育学校の理解をしている人は少ない。

答

柴原教育長

町長の了解をもとに、義務教育学校創設に向けて基本構想や基本方針、実施計画の作成に取り組みための整備検討委員会を立ち上げた。

住民の声を十分に取入れながら進めていると考えている。

質問

どう進める公共施設等

総合管理計画

答弁

地域全体で協議し考える

問

総務省が自治体に提出要請した公共施設等総合管理計画により、公共施設全体の床面積を縮小する計画が策定されている。

地方自治体が保有する学校、公民館、図書館、保育園、福祉施設などの箱物。上水道、下水道、道路、橋梁などのインフラ施設が対象。

根本東洋大学教授が長である東洋大学PPP研究センターは、各自治体の公共施設等総合管理計画のモデルを示し、総務省と一体となって公共施設の総量削減、公共サービスの民間事業者への開放を進めている。

公共施設は、住民の福祉増進の目的で、施設の種類、規模、地域ごとの配置は住民の要求を踏まえ、自治体が判断し設置したもの。

答

光嶋まちづくり課長 今後約40年間で

現在町が所有する公共施設、建物の面積を56%削減する数値目標を掲げている。

具体的には維持、改修、建て替え、廃止、集約など地域全体で協議し考える。



コスト論だけでなく住民福祉に配慮を

質問

都市鉱山プロジェクト

教育行政としての取り組みは

町政を問う
一般質問



山本宏治 議員

答弁

情報として学校に知らせていきたい



東京オリンピックへ向けて

問 東京オリンピックは、皆さんの家庭に眠る古い携帯電話などのリサイクルにより、レアメタルなどの鉱物資源を取り出しメダルを作る「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」が展開されている。本町も参加の意思を示しており、町を挙げて協力すべきと考えるが、どのような取り組みをしているのか。

答 山崎住民課長 小型家電の回収ボックスを本庁、各総合支所に設置中であり、今後PRに努め都市鉱山プロジェクトに参加をしていきたい。

問 この都市鉱山プロジェクトの意義として、教育行政の立場から児童・生徒に社会学習の取り組みはできないか。

答 柴原教育長 日本技術の再認識、リサイクルからのメダル作成など、取り組み自体の教育的意義も大きい。

オリンピック・パラリンピック競技大会は、いろいろな教育効果が期待できる。町教委としてもこの取り組みを情報として学校に知らせていきたい。

質問

ふるさと納税今まで以上の取り組みを

町政を問う
一般質問



岩野正則 議員

答弁

委託業者を2社に増やし全国にPR



育てます返礼品

問 現在までのふるさと納税額、使途、今後の展開は。

美咲町内の農業や、林業などの地場産業育成や、特産品を活用した、ふるさと納税返礼品の開発はできないか。今まで以上の取り組みを求め。

答 桑元総務課長 現在までの納税額と使途は、平成26年度から29年度までの4年間で累計1,445件。寄付総額は3,074万円。使途としては、30年度の予算に米粉の消費拡大事業、6次産業化事業、間伐材の搬出事業、定住促進住宅新築等補助金、結婚・子育て支援と教育などに充当している。

問 今後の展開は、委託業者にお願した28年度から寄付件数が増えている。本年度は委託業者を2社に増やし、寄付をお願いするともに、美咲町を全国にPRできるように展開する。

答 牧野産業観光課長 返礼品に向けた特産品の開発として、美咲町6次産業導入事業での取り組みにより、新たな特産品ができる可能性もあり、今後も事業を推進していきたい。

町政を問う
一般質問



質問 再生可能エネルギー事業の進捗は

答弁 町の課題解決に知恵を絞っていく

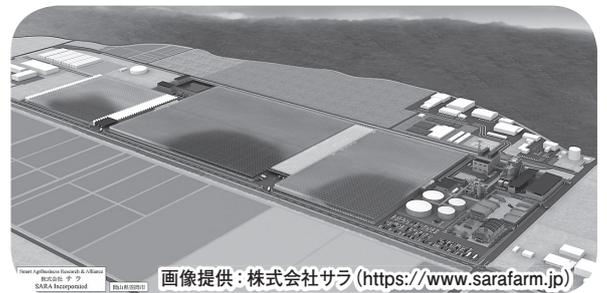
松田英二 議員

は、木質バイオマス発電とメガファーム（大規模農園）を融合させた企業誘致が進められている。
こうした事例を参考に、農林業などの地場産業の活性化、新たな産業の創出、新規事業への道を切り開くこと
によって山林の荒廃・耕作放棄地の増大、少子化、高齢化への対応

太陽光やバイオマスといった再生可能エネルギーや蓄電機能を持った空圧電池を組み合わせたハイブリッド発電事業は進んでいるか。

答 光嶋まちづくり課長
現在、中国電力（株）との間で系統連携（送電線の使用許可）

についての協議を行っている。その結果が届けば全体の事業費を算定し、黒字による事業運営が可能かどうかの検討に入る予定。
笠岡市において



農業と林業を一体化させた新たな産業

といった「みなし利益」を拡大させる再生可能エネルギー政策を積極的に進めなければなら

答 定本町長

事業を進めるにあたっては赤字幅や出資比率なども考えなければならぬが、本町の課題解決についても皆さんと知恵を絞っていきたいと考えている。

表紙の紹介

～今を理解し、未来を見つめ～

6月19日、町内3中学校の代表議員により、美咲町子ども議会が開催されました。

子どもたちの素直な想いが、美咲町を明るい未来へいざなうことを願っています。



岡山県町村議会議員研修

～議会の危機管理～

7月5日、岡山県内12町村の議会議員が参加した研修会が開催されました。

同志社大学大学院教授の新川達郎氏を講師に招き「議会の危機管理～災害時における議会・議員の対応～」の講演の中で貴重なお話を伺いました。



議会広報視察研修来訪

～びわのまちからピオーネのまちへ～

7月18日、福岡県岡垣町議会から7人が議会広報視察研修に来町し、お互いの町の紹介も交じえ、熱心に意見交換を行いました。



美咲町子ども議会

平成30年6月19日(火)に町内3中学校の3年生を対象とした平成30年度美咲町子ども議会が開催されました。

《子ども議会の趣旨》

- 美咲町の将来を担う子どもたちに町政に対する関心を持ってもらう。
- 町政に対する要望や質問を発表することを通して美咲町の将来のあり方を考える主権者としての意識を育てる。
- 子どもの視点からの意見を今後の町政に反映していく。

各中学校の代表として中央中学校4人(内1人は議長)、旭中学校4人、柵原中学校3人の合計11人の議員によって美咲町子ども議会が開催されました。

3校の3年生全員が傍聴する中、町政全般にわたる一般質問が行われました。

次世代を担う子どもたちの町を思う気持ちが伝わりました。

子ども議会に参加して



11番議員 中央中学校3年 議長 かわむら なお 河村 菜緒

私は、このたび開催された平成30年度美咲町子ども議会に議長として参加させていただきました。

きちんと進行できるか不安でしたが、思ったよりも緊張せずリラックスしてできました。

議会や議場の独特な雰囲気を楽しむことができ、良い経験になりました。



インスタ映えする亀甲駅舎

問 美咲町には美しい場所や盛り上がるイベントがたくさんありますが、町外の人にどれだけ魅力が伝わっているのだろうかと思います。

答 現在では組織的にSNSを活用した情報発信は出来ていません。これからは、美咲町の観光について協議している「美咲町黄福物語協議会」などで、SNSを活用した情報発信や、多くの人が美咲町の魅力を投稿できる仕組みづくりを担当課と連携しながら進めたいと思います。

1番議員
中央中学校3年 まつもと あずみ 松本 明澄



SNSで情報発信を

10人の子ども議員が町政を問う

歩道の整備・改善を

2番議員

中央中学校3年 為国 ためくに

直純 なおすみ



問

美咲町には多くの高齢者がおり、地域やイベントなどを支えてくださっています。高年齢に向けた事業はどのようなものがあるのか教えてください。

また、高齢者だけでなく、私たちも通りづらいつな狭い歩道があります。そのような歩道の整備や改善ができませんでしょうか。

答

高齢者向けの事業では「健康づくり・居場所づくり・生きがいづくり」の大きく3つの事業を行っています。

歩道の整備については、町でも段差をなくしたり陥没箇所の工事を行ったりしています。今後も国や県に歩道整備を強く要望していきたいと思っています。



狭く危険な歩道

子育て支援の充実を

3番議員

中央中学校3年 黒瀬 くろせ

崇志 たかし



問

美咲町にはたくさんの子育て支援事業があることを知り、驚きと嬉しさを感じました。

現在、子育て支援センターは中学校区ごとの町内3力所で、範囲が広く利用しにくいと思います。そこで小学校区ごとに公民館などを利用して設置すれば利用者も増えると思いますがいかがでしょうか。

答

子育て支援センターは保育園に入園していない家庭を対象に子育て支援を行う場所です。

現在は出前保育や電話相談、地域合同行事などを行い、利用しやすい環境をつくっています。常設のセンターを増やすことについては利用状況や財政面も踏まえ検討していきたいと思っています。



子育ては環境が大切

「美咲町観光大使」を提

4番議員

旭中学校3年 青田 あおた

匡 たく



問

美咲町では移住者や観光客を増やす取り組みに力を入れていと聞きま

す。そこで「美咲町観光大使」をつくることを提案します。年に「回コンテスト」を行い、選ばれた男女二人ずつの大使に、行事への参加やPR活動を行ってもらえば、さらに町の活性化につながるのではない

答

現在「美咲町ふるさと黄福大使」の設置要綱はありますが、大使は誕生していません。

そこで、三つの中学校から「美咲町中学生観光大使」をお願いし、町のPRやイベント参加などに協力してもらえないかと考えていますので、皆さんも美咲町の観光を考えてみてください。



みんなで発信！美咲の魅力

10人の子ども議員が町政を問う

「親子バーガー」の販売

5番議員

旭中学校3年 河原 和美

和美



問 昨年も先輩が「親子バーガー」の提案を行いました。が、今回はさらに具体的に考えました。

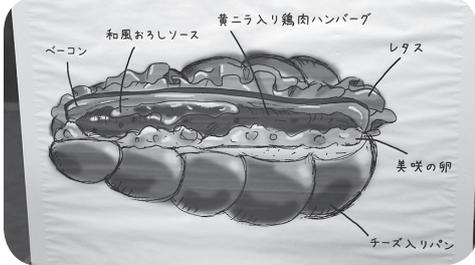
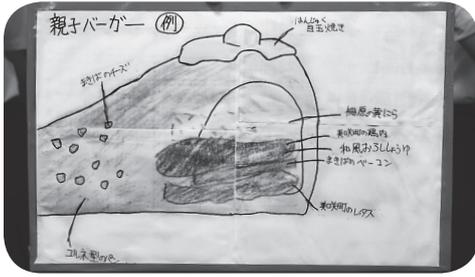
美咲町産のチーズやベーコン、黄ニラや鶏肉、卵や野菜を使った「親子バーガー」を開発し、町内の特産物販売所や観光施設で販売してはどうでしょうか。

案します。

答 提案をいただき「親子バーガー」の実現に向けて関係団体に話をしました。

すぐに町内外で販売することは難しいですが、今後町内のイベントなどで数量限定の試験販売ができたらと考えています。

一緒においしい「親子バーガー」を考えていきましょう。



親子バーガー 中学生の案(上)と町の案(下)

便利で快適なまちへ

6番議員

旭中学校3年 柴田 美優

美優



問 美咲町にコインランドリーやコンビニエンスストアを建設できないでしょうか。

年代に関係なく多くの人が利用し、身近に便利なお店があれば、今よりも快適に暮らせ、人口増加にもつながると思います。

答 旭中学校区にはコインランドリーやコンビニはありませんが、全ての人が今より便利に暮らせるのであれば建設も可能かもしれません。

そのためには、旭地域の皆さんが同じ思いを持ってくださることや、お店を経営している人の協力が必要です。

今後のまちづくりを地域と一緒に考えていきます。



今よりもっと暮らしやすく

花で町を盛り上げたい

7番議員

旭中学校3年 里見 明飛

明飛



問 旭地域の三休公園には多くの人が桜を見に訪れます。5千本の桜や高台からの景色はともきれいです。

そこで「二年を通して、美しい花の咲く町」美咲町をキャッチフレーズに、町全体に四季折々の花を植え、季節ごとの花を楽しめれば観光客も増え、町も盛り上がるのではないのでしょうか。

答 美咲町らしいキャッチフレーズを考えていただきました。現在も町花である菊づくりの普及や庭を解放した「花めぐり」、地域での花壇の整備などに多くの人が取り組んでいます。

まちづくりの一つの方向性を示していただいたので、各地での取り組みの研究から始めたいと思います。



美しい花の咲く町 美咲町

10人の子ども議員が町政を問う

将来働ける場所を

8番議員

柵原中学校3年 稲谷 嘉人
いなや ひとと



問 私は将来、美咲町に残りたいと思っていますが、働ける場所があるのか不安です。

私は将来、美咲町内に38社、柵原地域には18社あります。また福祉施設や農業で働く人、近隣の工業団地で働く人も多くいます。

現在美咲町には働ける場所がどのくらいあるのでしょうか。また、若者が帰ってくるのができるような環境があるのか教えてください。

答 従業員4人以上の企業は、美咲町内には38社、柵原地域には18社あります。また福祉施設や農業で働く人、近隣の工業団地で働く人も多くいます。美咲町では就職定住祝い金や子育て支援など、若者が安心して暮らせるよう支援を行っています。生まれ育った地元を大切に思い、ぜひ町に残っていただけたらと思います。



地元で育ち 地元で働く

柵原地域の道路計画は

9番議員

柵原中学校3年 山田 輝月
やまだ かつき



問 柵原地域に高速道路が通ると聞きました。現在の計画がどのくらい進んでいるのか教えてください。

柵原地域に高速道路が通ると聞きました。現在の計画がどのくらい進んでいるのか教えてください。また、立ち退きをしなければいけない人がいるのでしょうか。もしいるのなら、その人たちへの対応をどうするのか教えてください。

答 ご質問の道路は美作岡山道路といふ自動車専用道路で、飯岡地区にはインターチェンジができる計画があり、町からは県に事業推進の要望書を提出していますが、一部で計画を心配する声もあります。立ち退きが必要な人には、家屋調査や引っ越しをお願いすることもありますが、意見を十分に聞きながら進めていきたいと思っています。



柵原インターチェンジ イメージ図

通学路、工事の状況は

10番議員

柵原中学校3年 福田 愛菜
ふくだ まな



問 柵原中学校への通学路が土砂崩れで通行止めになり、現在迂回をしています。登下校時は交通量が多く、先日は事故も発生し、危険や不安を感じています。

柵原中学校への通学路が土砂崩れで通行止めになり、現在迂回をしています。登下校時は交通量が多く、先日は事故も発生し、危険や不安を感じています。7月下旬頃までに仮の防護柵の設置工事を完了させ、通行できるようにしたいと考えています。

答 現在、崩落箇所調査を行っており、原因の解析や工事方法の検討を行った後、復旧工事に入る予定です。7月下旬頃までに仮の防護柵の設置工事を完了させ、通行できるようにしたいと考えています。通行可能となっても登下校時にはさらに注意して、安全な通学をお願いします。



安全な通学路へ



ドキドキの打合せ



いよいよはじまるよ



堂々の質問!



みんなで傍聴



緊張したね



みんな頑張りました



議員はどうでしたか?



「貴重な経験でした」



無事に終わって「ホッ」

編集 後記

「一点の偽りもなく青田あり」。山口誓子が詠んだ句の景色が、ここ美咲町にも広がっています。

一方で町政に目を向けますと、「一点の偽りもなく」議会運営や行政運営が行われているだろうか、と自問自答することがあるように思います。

6月定例会では副町長の選任や国から派遣される人材支援制度などが議論され、7月からは新たな執行部体制がスタートしています。

町が誇る青田の風景のように「一点の偽りもなく」町民の皆様からみていただけるよう、これからも努めて参ります。

(松島幸一記)

議会広報編集特別委員会

委員長 左居 喜次
副委員長 藤井 智江

山田 雄二
松島 幸一
松田 英二
金谷 高子